2020 年 10 月 19 日

各 位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード 8739 東証第一部)

「未来創生 2 号ファンド」
東大発 AI ベンチャーの株式会社日本データサイエンス研究所への投資実行
―大手企業との DX 推進/AI 実装、産業全体に提供するソリューション開発を加速―

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2018 年 7 月に設立した「未来創生 2 号ファンド」が、日本をアップグレードすることを使命とした東大発の AI 企業である株式会社日本データサイエンス研究所（本社：東京都文京区、代表取締役社長：加藤 エルテス 聡志。以下、JDSC 社と表記）への投資（金額は非開示）を実行しましたので、お知らせします。JDSC 社は今回の調達資金を活用し、専門性の高いデータサイエンスやエンジニアリングの技術人材や豊富な経験を有するビジネス人材の登用、DX/AI ソリューションの開発、新領域への R＆D 投資等を強化します。

■投資先企業の概要

JDSC 社は Upgrade Japan を使命として、業界のリーディングカンパニーの皆様と共同で DX 推進/AI 実装による業界課題の解決に取り組んでいます。これらの連携の中で、需要予測ソリューション（demand insight）や電力データを活用したフレイル検知（要介護予兆の特定）、不在配送回避のソリューション等、幾つものソリューションが創出されています。

JDSC 社のアプローチの特徴は「再現性の高さ」にあります。JDSC 社では、AI アルゴリズムの構築やシステム実装といった技術的な知見を豊富に有するメンバーに加え、AI を活用した具体的な解決策の提示や新規事業の立案、難易度の高い DX プロジェクトの執行等、ビジネス面に優れた能力を有するメンバー、双方を有しています。技術知見とビジネス知見を兼ね備えた稀有な AI ベンチャーとして、創業 2 年ではありますが、数多くの産業のリーディングカンパニーとプロジェクトを推進するに至っています。このようなアプローチは、産業を問わず、様々なケースで再現可能と認識しており、JDSC 社は引き続き新領域への参入を積極的に進めてまいります。

本件プレスリリースの内容を含め、詳細については JDSC 社のホームページ： https://jdsc.ai/ をご参照ください。

■「未来創生（1 号）ファンド」及び「未来創生 2 号ファンド」の概要

未来創生（1 号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた 3 社による総額約 135 億円の出資により、2015 年 11 月より運用を開始しました。最終的には、上記 3 社を加えた計 20 社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技術を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約 50 社に投資しました。2018 年下半期には、既存投資領域 3 分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2 号ファンドの運用を開始しました。2020 年 9 月末時点の運用資産残高は、1 号と 2 号あわ

せて、1,093 億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：https://mirai.sparx.co.jp/investment/

■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com